

今熊地区周辺エリア複合施設整備事業基本構想 概要版

令和7年(2025年)3月

I 基本事項の整理

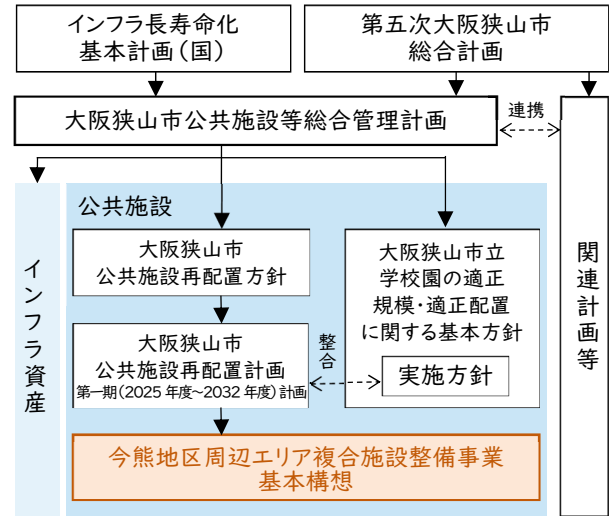
背景

大阪狭山市(以下、「本市」という)では、狭山ニュータウンの整備に伴う人口増加に合わせ、市民の日々の暮らしを支え、様々な行政サービスを提供する場として、これまでに多くの公共施設を整備してきましたが、その多くは老朽化により更新時期を迎える状況となっています。

国からの通知に基づき、本市では、「大阪狭山市公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設マネジメントの取組みを進めています。

また、「大阪狭山市公共施設再配置方針」や「大阪狭山市公共施設再配置計画第一期(2025年度～2032年度)計画」を策定し、今後の公共施設の更新、複合化や集約化等の対策内容や実施時期などを整理したところです。

位置づけ



目的

今熊地区周辺エリアは、「福祉・文化拠点」として本市の主要な公共施設が集積していますが、その多くは1970年代に建設されており、建物や設備の老朽化が一斉に進んでいる状況です。

本基本構想は、今熊地区周辺エリアに集積して立地している公共施設及び関連する機能を集約・複合化することなどにより、公共施設の総面積の圧縮を図りながら機能の充実、サービスの向上をめざす「縮(しゅく)充(じゅう)」によって、地域の活性化や魅力向上を図るため、今熊地区周辺エリアの整備に関する基本理念や基本方針などを定め、集約化・複合化などを対象とした令和8年度までの時限措置である公共施設等適正管理推進事業債を活用し、着実に事業実施することを目的として策定するものです。



図書館

公民館

保健センター

心身障害者福祉センター及び
母子・父子福祉センター

障害者地域活動
支援センター

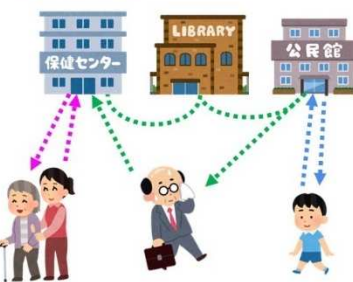
老人福祉センター

(参考) 複数の機能を集約するメリット

これまでの公共施設は、おおむね提供する行政サービス(機能)ごとに施設が整備されていましたが、複数の機能をひとつの建物に集約することにより、交流やにぎわいの創出、利便性の向上、効率的な施設整備などの効果が期待されます。

※令和6年(2024年)12月12日(木)、14日(土)に開催したワークショップ「今熊地区の新たな複合施設についてコンセプトにつながるアイデアを一緒に考えましょう」での説明資料の一部抜粋

これまでは...



- 他の施設を使っている人と出会う機会がない
- あちこち移動するのが大変

複数の機能をまとめると...



- ★いろいろな人と、自然に交流やにぎわいが生まれやすくなる
- ★一カ所で用事が済む
- ★スペースの効率化が図れる

対象敷地と施設

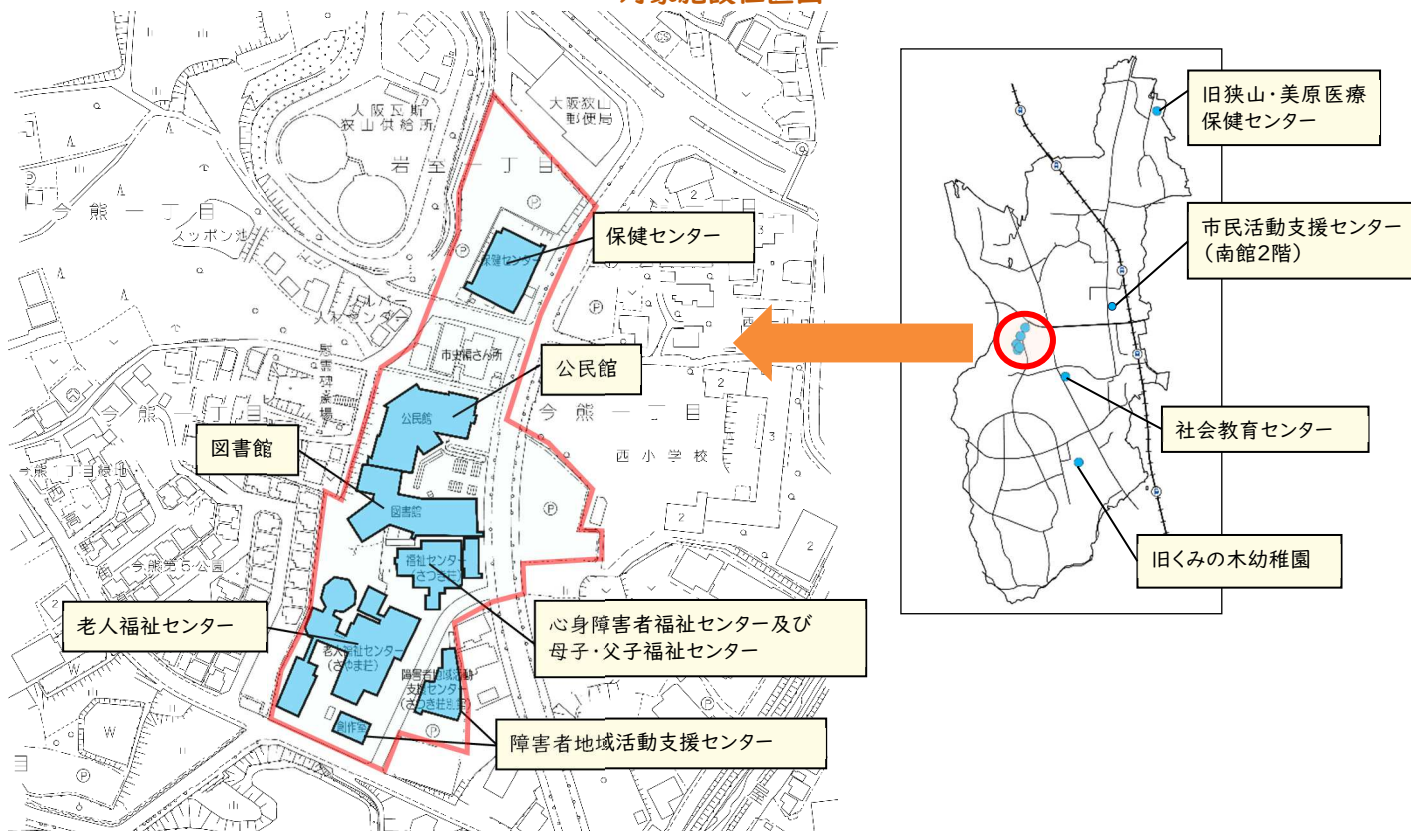
現在、今熊地区周辺エリアに立地している施設で老朽化が著しく建替えが必要な施設や、複合化により機能を集約することで市民サービスの維持・向上に効果が見込まれる施設を対象とします。

	施設名称	敷地面積	延床面積	建築年度	築年数	構造※	耐震性	備考
1	老人福祉センター (さやま荘)	4,765 m ²	1,706 m ²	1978	46	RC 造	有	計画敷地内に 立地している 施設
2	心身障害者福祉センター 及び母子・父子福祉センター	1,250 m ²	698 m ²	1978	46	RC/S 造	有	
3	公民館	6,825 m ²	2,883 m ²	1977	47	RC 造	有	
4	図書館		1,411 m ²	1977	47	RC 造	有	
5	障害者地域活動支援 センター	426 m ²	499 m ²	1988	36	S/LS造	有	
6	保健センター	3,277 m ²	1,467 m ²	1988	36	RC 造	有	
7	社会教育センター	1,081 m ²	630 m ²	1970	54	RC 造	有	計画敷地外の 施設 ※機能集約後の利用 や跡地活用等につ いては今後検討。
8	休日診療所(旧狭山・美原 医療保健センター)	3,018 m ²	976 m ²	1979	45	RC 造	無	
9	旧くみの木幼稚園	3,457 m ²	496 m ²	1978	46	RC 造	有	
10	市民活動支援センター (※南館2階)	機能のみ移転						

※RC造：鉄筋コンクリート造、S造：鉄骨造、LS造：軽量鉄骨造

※計画敷地内の市史編さん所については他の公共施設内への移転を計画します。

対象施設位置図



2 めざす姿（基本理念）

今熊地区周辺エリアでは、既存の公共施設の機能を高めることはもちろん、休日診療や子育て支援といった新たな機能を集約し、民間事業者とも連携しながら、広場や交通結節点としての機能も充実していきたいと考えています。様々な機能を集約し、多様なニーズに応えることにより、多くの世代が利用することにつなげ、にぎわいを創出するとともに、人・時・場所のつながりをつくり、市民の暮らしの質を向上させることをめざします。

基本コンセプト

一人ひとりが輝き、未来のさやまをつくる場所 ～まもる・まなぶ・つなぐ・はぐくむ～

● まもる（みんながいこい、自分らしくいられる）

- ・ひとりでも、みんなと一緒に、自分らしくいられる
- ・みんなの心とからだが健康になれる
- ・誰もがひとりにならない
- ・いざという時のよりどころになる

● まなぶ（あそびやまなびを通じて、日々、新しい自分を見つけられる）

- ・自然を感じ、みんながのびのびと身体が動かすことができる
- ・色んな遊びや学びを経験できる
- ・みんなが学び続けられる
- ・新たな技術も取り入れた環境がある

● つなぐ（気軽につながることができ、にぎわいが生まれる）

- ・いろいろな価値観や情報が自然にまじわる
- ・誰もが気軽に目的がなくても立ち寄れ、いろんな人に出会い、活動できる
- ・どこからでも立ち寄りやすいよう、様々な交通手段の拠点になる

● はぐくむ（さやまをつくる人・文化・活動の未来への架け橋となる）

- ・新しい人との出逢いが広がる
- ・みんなで子どもを育てられる
- ・さやまの魅力を再発見、共有し、未来へ伝えていくことができる
- ・地域の色々な活動を続け、発展していくことができる

基本コンセプト策定までの経緯

今熊地区周辺エリアの基本コンセプトの策定にあたり、市民参加によるワークショップを開催し、参加者の方にアイデアを出し合っていました。また、ワークショップ以外にも施設利用者の方への意見募集や今熊地区周辺エリアの再配置を進めるにあたり、市民アンケートやタウンミーティング、再配置計画策定の際のパブリックコメントなどで様々なご意見をいただきました。今後も、複合施設の整備に向け、多様な方法で市民のみなさまのご意見をうかがいながら、事業を進めていきます。



<ワークショップ（令和6年12月実施）>



<施設利用者意見募集（令和6年12月から令和7年1月実施）>

3 エリア整備計画（基本方針）

新たな複合施設「（仮称）新みらい型世代間交流総合会館」の建設をはじめ、あらゆる利用者の安全性や利便性に配慮し、新たな交流が生まれ、市民の誰もが利用しやすい、魅力あるエリアとなるよう計画します。

整備の基本的な考え方

- 複合化によるサービスの向上
- 市民が主体的に活動し、つながる場所の創出
- いくつになっても学び、新しいことが見つかる場所
- 子どもの成長や子育てをサポートする場所づくり
- 安全性の確保（防災/ユニバーサルデザイン）
- 経済性への配慮
- 工事期間中の施設利用者への配慮
- 環境への配慮

整備する機能

複合施設	①市民利用諸室 市民活動支援機能、公民館機能、障がい者支援機能、高齢者福祉機能	延床面積 6,500㎡ 程度を想定
	②図書館機能	
	③障がい者地域活動支援機能	
	④地域子育て支援拠点機能	
	⑤休日診療機能	
	⑥保健センター機能	
	⑦民間機能（民間提案エリア①）※	
	⑧共用部・共有部	
外構施設	①屋外広場・屋内広場 ②交通結節点 ③駐車場・駐輪場 ④その他（緑化等）	
民間機能	民間機能（民間提案エリア②）※	

※民間機能は独立採算で実施を想定しており、民間提案エリア①は行政財産目的外使用、民間提案エリア②は事業用定期借地を想定しています。

4 事業手法

採用する事業手法と概算事業費

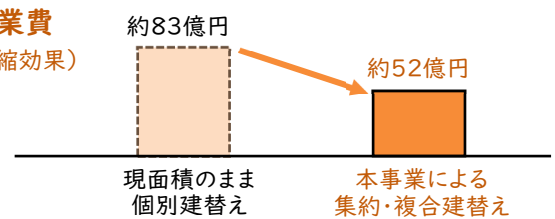
本事業では、工期短縮やイニシャルコストの削減効果などが期待できる、設計施工一括のDB（デザイン・ビルド）方式を採用し、民間提案エリアの整備及び運営・維持管理（O（オペレート））を含んで一括発注します。

本事業に要する概算の施設整備費を算出すると約52億円（広場等の外構整備を含む）程度になると見込まれ、複合化の対象施設を全て現在の延床面積（10,766㎡）のまま個別に建替えた場合と比較すると、約31億円以上の圧縮が図れる見込みです。

令和8年度（2026年）までの時限措置である公共施設等適正管理推進事業債を活用できるよう令和8年度（2026年）までの着工に向けて適正な進捗管理を行います。

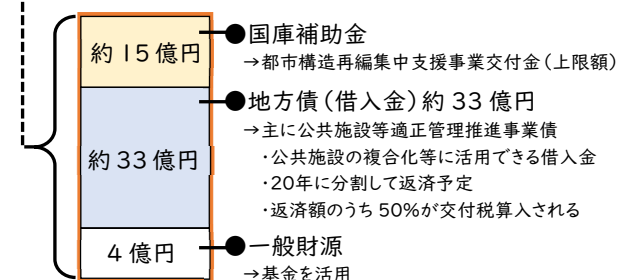
概算事業費

（費用圧縮効果）

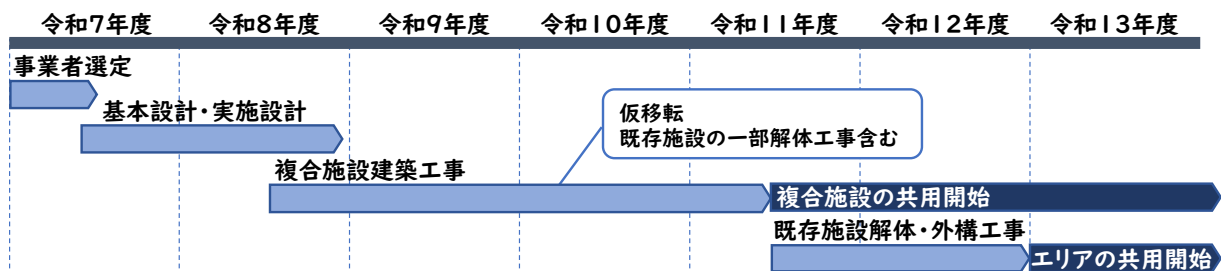


財源の検討

●総事業費 約52億円



今後の想定スケジュール



※本スケジュールは現時点で想定している最短の予定であり、今後の検討や事業者の提案等によって、適宜見直しを行い、最適化を図っていくこととします。
また、各段階において、積極的な情報発信を行っていくことやワークショップなどの実施を検討していきます。